

2023 年度メディアセンター事業報告

1. セキュリティ対策と危機管理
 - (1). OS やブラウザのサポート期限、脆弱性対応などへの対応として、ネットワークセキュリティに関するアップデート、サーバ機器やパソコン等のアップデート対応を実施した。
 - (2). 情報セキュリティリスクに対応する、ネットワーク機器・サーバインフラの改修・更新を実施した。あわせて、キャンパスネットワークの冗長構成を見直し、障害や災害に対する強化を実施した。また、継続して、エンドポイントセキュリティの向上を目的とした、多要素認証の利用促進や利用者支援を実施した。

2. 組織運営の効率化に資する情報化推進とシステム整備
 - (1). 新たなシステム整備に関する構想策定や設計を実施した。
 - (2). キャンパスメーキングなどに関連したインフラ整備に関する設計や構成検討を実施した。

3. 教育研究活動の高度化に資する情報化推進
 - (1). 次期授業支援システムとして Canvas LMS を導入し、2023 年度春学期よりすべての授業科目の運用を開始した。
 - (2). クラウドサービスの活用や利用デバイスの増加に伴うネットワークトラフィックの増大に対応するため、学内の無線 LAN 環境整備を実施した。
 - (3). LMS や Web 会議システムのサービス提供と利用支援を継続して実施した。
 - (4). オンライン・対面ミックス型授業への対応として、様々な授業運営へのサポートを実施した。あわせて、公開講演会などを含む各種学内イベント対応も実施した。
 - (5). 教室マルチメディア機器の改修を実施した。
 - (6). 調査・情報・統計技法の活用による教育研究活動支援を目的とした、社会情報教育研究センターの運営を実施した。

4. 重点事業（情報戦略の策定）

- (1). Canvas LMS において出席管理機能の運用を開始した。
- (2). eポートフォリオシステムの機能改善を実施し、学修状況調査のダッシュボードの運用を開始した。
- (3). 一部の科目においてラーニングアナリティクスに関連するツールの検証を実施した。
- (4). データマネジメントシステム（DMS）を活用し、授業科目の分析やデータ検証を実施した。

5. 運用管理

- (1). V-Campus 基盤をはじめとした、各種サービス・機器の運用管理を実施した。